

鼻濁音の位置づけと現況

～「もも組」と「ももグミ」～

メディア研究部 塩田雄大／東 美奈子

『NHK日本語発音アクセント新辞典』では、発音上の情報として「鼻濁音(ガ行鼻音)」の表示を掲げている。鼻濁音とは簡単に言うと「やや鼻にかかったガ行の音」で、その表示には「カ」に「°」のついた「カ°」という文字を用いている。

本稿では、鼻濁音をめぐるこれまでの扱い方と先行研究、辞典編集会議の過程でおこなわれた議論、およびアナウンサーを対象に実施した調査の結果を中心に論ずる。

鼻濁音は、日常の会話で使われることが全国的には少なくなりつつある。その一方で、ある単語における鼻濁音と濁音の区別を情報として知りたいというユーザーは確実にいるのであり、『NHK日本語発音アクセント新辞典』でもその要望に応えようとした。

今回、さまざまな語のアクセントに加えて鼻濁音についてもアナウンサーを対象に調査を実施し(中堅・ベテラン層アナウンサー67人・調査語141語)、この結果に基づいて一部の語の鼻濁音表示の変更をおこなった。この調査の結果とそれに基づく変更点、さらに調査結果からみえる鼻濁音の傾向などを報告する。

はじめに

びだ〜くおんおん びだ〜くおん
鼻から優しく 思い届けよう
鼻から抜くのさ 華麗に鼻濁音

(「華麗に鼻濁音」)

作詞：うなりやべん 歌：ちーむ☆ひこ星

【http://www.nhk.or.jp/kids/nihongo/song/index_69_bidakuon.html】

これは、NHK・Eテレ『にほんごであそぼ』で2016(平成28)年8月から放送されている子ども向けの歌である。

『NHK日本語発音アクセント新辞典』(以下『新辞典』とする)では、鼻濁音(ガ行鼻音)で発音される語については、原則として「カ°」「キ°」「ク°」「ケ°」「コ°」「キ°ャ」「キ°ュ」「キ°ョ」を用いて示している。これはあくまで鼻濁音を使うことにした場合の発音を示したものであり、この発音のみが絶対的に優れているとか、これ以外の発音は間違っているなどといっ

たことを表そうとしたものではない(巻末解説p.[27])。

例えば歌の世界では、演歌だけではなく、現代のJ-POPにおいても鼻濁音を積極的に使おうとする歌手もいる(山田敏弘(2013))。放送・演劇・合唱などの場面で「自分は鼻濁音を使って発音したい」という人は確実にいるのであり、こうしたユーザーのために“鼻濁音を用いて発音しようとするならば、このようになる”ということを情報として示すのは、理にかなったことだと考える。

本稿では、『新辞典』編集時における鼻濁音をめぐる問題について報告する。1章までを塩田が、2章以降を東が執筆した。

なお学術的には、「鼻濁音」は「シガ」「シダ」「シバ」のように“入りわたり鼻音”を持つ濁音を指し、一方「ガ行鼻音」が「カ°」「キ°」「ク°」「ケ°」「コ°」などに相当する音を示す習慣もあるが、ここでは簡略的に「鼻濁音」をもって

[カ°] [キ°]などを指すことにする。

1. 鼻濁音と放送用語

まず、放送において鼻濁音を用いるということについて、戦前の放送用語委員会においては、ほぼ疑う余地のないものであったようである。1934（昭和9）年1月におこなわれた日本放送協会のアナウンサー採用試験では、鼻濁音と濁音をきちんと区別して発音できるかどうかを判定するために、「炭酸ガス、衆議院議員、紅蓮の炎、光源氏、胡麻、駿河の国、玉ねぎ、家具商、蓮華草、卵焼き、雅楽、半夏生^{いがくり}、毬栗、山羊、手拭い、園芸、囲碁、専門学校、彼岸、薙刀^{なぎなた}、愚問愚答^{ひぐらし}、鯛、下男下女、能狂言^{きんぴらこぼう}、金平牛蒡^{こごうのつぼね}、小督局」などを読み

上げる問題が出されている。受験者は一人ずつマイクに向かって発音し、試験官が別室でスピーカーから聞いて採点したとのことである（小森幸正（1934）、國米藤吉（1935））。

1936（昭和11）年4月11日の放送用語委員会（当時の正式名称「放送用語並発音改善調査委員会」）では、非常に詳細な資料をもとに、鼻濁音の使い方・使い分けをめぐる議論がなされている。驚くべきことに、これらは現代の規定とほぼ同様である。委員会に提出された資料「ガ行半濁音の発音法則」および「外国語の“G”の発音法則」のうち、少々長くなるが、前者をここにほぼそのまま掲載する。なおこの資料内では、鼻濁音（ガ行鼻音）のことを「ガ行半濁音」あるいは「[カ°]行音」と呼んでいる。

ガ行半濁音の発音法則（整理稿）

凡例

- 一. ガ行の半濁音を「カ°キ°ク°ケ°コ°」であらはず。以下〔カ°〕行音と呼ぶ。
- 二. (省略)
- 三. 地方的には、一切〔カ°〕行音のないところ（例へば九州・高知・愛媛・香川・山口・島根・新潟・群馬あたりなど）と、語頭にも〔カ°〕行音のあるところ（例へば青森・徳島その他）とがあるけれども、この稿は、全国中継アナウンス用語（「放送用語の調査に関する一般方針」総則二・三参照）における発音法則を記述したものである。
 - 一. 語頭においては、原則として〔ガ〕行音に発音する。
（例）ガッコー（学校）ギモン（疑問）ケンカン（軍艦）ゲンコー（原稿）ゴジツ（後日）
 - 二. 助詞の「が」は〔カ°〕と発音する。
（例）ワタクシカ°（私が）
「が」を承前の副詞として用ひる場合でも〔カ°〕と発音する。
（例）ソーダ。カ°, シカシ, レーカ°イモアル。
「ケ」も濁る場合は〔カ°〕と発音する。
（例）茅ヶ崎
 - 三. 語間においては、原則として〔カ°〕行音に発音する。
（例）カキ°（鍵）ウク°イス（鶯）エンケ°ー（演芸）ゴコ°（午後）ショーカ°ッコー（小学校）
チューカ°ッコー（中学校）ジョカ°ッコー（女学校）
 - 四. 「カキケコ」の連濁は原則として〔カ°〕行音に発音する。
（例）ハルカ°スミ（春霞）ホンキ°マリ（本極り）ウバク°ルマ（乳母車）
ユキケ°シキ（雪景色）ハシラコ°ヨミ（柱暦）
 - 五. 数詞の「五」は、原則として常に〔ゴ〕と発音する。
（例）ゴマン・ゴセン・ゴヒャク・ゴジュウ・ゴエン（五萬五千五百五十五圓）
ジュウ・ゴセン（十五錢）ニジュウ・ゴネン（二十五年）
但、概数として「四五」といふ場合は次の通り発音する。
（例）ジュウシコ°（十四五）シコ°サイ（四五歳）シコ°ンチ（四五日）

又、九九の呼声は次の通り発音する。

一^五・五^五 二^五・十^五 三^五・十^五 四^五・二十^五 五^五・二十五^五 六^五・三十^五 七^五・三十五^五
八^五・四十^五 九^五・四十五^五

名詞として用ひられる「十五夜」「七五三」等は次の通り発音する。

ジュ^コヤ (十五夜) シチ^コサン (七五三)

副詞として用ひられる「三三五五」は次の通り発音する。

サン^{サン}・ゴ^コ

人名の「五」は次の通り（即ち語頭・語間における原則の通り）に発音する。

ゴ^ロ (五郎) キク^コロ (菊五郎)

源五郎鮒 (ゲン^コロ^ブナ) 等も之に準ず。

六. カナ四字（又は六字）から成る擬声語では、語間でも〔ガ〕行音に発音する。

(例) ガン^ガン キシ^ギシ ゲン^グン ゲラ^ゲラ ゴン^ゴン ガラン^ガラン ゴロン^ゴロン
漢語の擬声語・形容語でも同じ。

(例) ゴ^ゴ (轟轟) ガイ^{ガイ} (皚皚)

七. 次の如き漢語の形容語には二様の発音がある。

峨^ガ峨^ガたる (ガ^ガタル ガ^カタル) 巍^ギ巍^ギとして (ギ^ギトシテ ギ^キトシテ)

次の語にも二様の発音がある。

下^ゲの下^ゲ策 (ゲ^ゲノゲ^ゲサク ゲ^ケノゲ^ゲサク)

八. 複合語中、意味上よりする心理的ポーズのある場合は、語間でも〔ガ〕行音に発音する。

(例) オン^カク・ガ^ッコ (音楽学校) ロー^ア・ガ^ッコ (聾啞学校) (以下略)

九. 次の語には二様の発音法がある。

外国語学校 ガイ^コク・ゴ^カッ^コ… (一) ガイ^コク^コ・ガ^ッコ… (二)

(参考) 意味の上からみれば (二) の方が正しいと思はれるが、発音の上からは (一) の方が自然的な発音と認められる。なほ略称の「外語」は「ガイ^コ」で、これは第三項の例に入る。

交響楽団 コー^{キョ}ー・ガ^クダン コー^{キョ}ー^カク・ダン

衆議院 シュー^ギン シュー^キン

十. (省略)

十一. (省略)

十二. 次の類の複合語においては〔ガ〕行音に発音する。

(例) オモ^テ・ゲン^{カン} (表玄関) ウラ[・]ゲン^{カン} (裏玄関) モト[・]ゴ^ユ (本御油) (地名)

十三. 第三則と第十二則とに依つて二様の発音をするものがある。

(例) 新^シ学期 (シン^カッ^キ (第三則))

(シン[・]ガ^ッキ (第十二則))

十四. 「ございます」の「ご」は常に〔ゴ〕と発音する。

(例) ココ^ニゴ^ザイマス (以下略)

十五. 次の類の複合語においては〔カ〕行音に発音する。

アナ^タカ^タ (貴方がた) ニホン^バシキ^ワ (日本橋際) (以下略)

「…川」の「川」は「カ^ワ」と発音する。

(例) スミ^ダカ^ワ (隅田川) エド^カワ (江戸川) テン^リユウ^カワ (天龍川)

十六. 「如く」の「ご」は常に〔コ〕と発音する。

(例) ツキ^ノコ^トク^ケッ^テイ^タシ^マシ^タ。

十七. 外来語も、全く国語化してあるものは、上記各項の法則に従ふ。

(例) イ^キリス オル^ガン エレ^バター[・]ガ^{ール}

十八. 外国語や半外来語は、意味よりも、寧ろ、その語の音節の数、Gを含む音節の位置、Gを含む音節の前後の音の関係、その他、アクセント等によつて、或は〔ガ〕行音 (一) に、或は〔カ〕行音 (二) に、或は二様 (三) に、発音されてゐる。

(例) (一) ケ^ロッ^ク条^約 ダ^グラ^ス ラ^グビー

(二) キ^ンク[・]ヒ^ンデ^ンブル^ク

(三) シ^ガー シ^カー

十九. 要するに、意味上よりして発音の連結の緊密なところに〔カ〕行音がある。

【放送用語並発音改善調査委員会 (第44回・1936 (昭和11) 年4月11日) の審議資料。漢字は適宜現代のものに置き換えた】

なお、鼻濁音の全国分布の調査結果としてもっとも古いものが、1905（明治38）年の『音韻調査報告書』（国語調査委員会（編））に示されている。一方、現代における全国での鼻濁音の使用実態の一部は、尾崎喜光（2015）や大西拓一郎（2016）で取り上げられている。またそれほど新しい調査ではないが、いくつかの単語を鼻濁音と濁音で発音したテープ音声を一般の人に聴かせて「どちらが感じがいいか」について尋ねたものがある。2,639人からの回答の分析から、東日本では鼻濁音を「感じがいい」と答える人が多く、西日本ではその反対であることが明らかになっている（文研・世論 ことば調査グループ（1980）、稲垣文男ほか（1981））。鼻濁音を保持している人はそれを「感じがいい」と考え、保持していない人はその逆の意見になるという、「人間らしい」傾向が見て取れる。

2. 『新辞典』での「鼻濁音」の扱い

2008（平成20）年5月、第1回アクセント辞典改訂専門委員会（以下「改訂委員会」とする）で、新しいアクセント辞典の役割と今後のあり方について意見交換がおこなわれた。その中で、「鼻濁音」をどう扱うべきかについては以下のような意見があがった¹⁾。

（井上史雄委員）鼻濁音は、その変化からみてもう末期症状なので、教えるのは大変かもしれません。しかし、ガ行鼻濁音さえも示さない『発音アクセント辞典』というのは役をなさないと思います。理想的にはこういう発音であってほしいというのを示すのが「鑑」としての辞書の役割だと思います。ですから、鼻濁音を示すことは迷う必要はない

と思います。年配アナウンサーが自信を持って俺たちはこんなふう¹⁾に発音しているんだということを示していいと思います。

（上野善道委員）ガ行の鼻濁音の問題は、現実にはだんだん使われなくなっているということはわかりますが、辞書としては載せておくほうがいいと思います。そうでないと、これを使いたい、どちらなのかということを知りたい時に、引いてもわからない。自分が使えなくても、これが一応の規範だと、あるいはかつてはこう言っていたというのがわかることも一つの指標ではないかなと思います。

（水谷修委員）それは大事ですね。それを失うと辞書を作る意味がなくなります。

同様に、アナウンサーからの要望もあった。例えば、改訂作業を始める際に寄せられたものとして、「どんなときに鼻濁音になり、あるいはならないのかわかりやすく説明する必要がある。（30代後半）」という意見があった（坂本充（2009））。

アクセント辞典改訂編集事務局としては、従来どおり、鼻濁音を辞典に記載することを決定したのである（塩田雄大（2012））。

3. 調査の経緯と概要

ガ行の発音については、原則として、一般的なルールに基づき、『NHK日本語発音アクセント辞典 新版』（1998年、以下『98年版』とする）の濁音・鼻濁音の規定を引き継ぐことになった。

ただし、「生年月日」の[セーネンガ\ッピ、セーネンカ\ッピ]のように、『98年版』で濁音・鼻濁音両用の発音が許容されている語

調査用紙と回答例

が60語あり、それらについては事務局で検討を加えた。そして、後部要素ごとにまとめ、整理した案「濁音・鼻濁音両用一覧」を、第7回改訂委員会²⁾に議題として提出した。

その席上では、「すっきりまとまっていわかりやすい」という声があった一方、「修正案に違和感があるものがある」という意見も出た。「今回の辞典の改訂はアナウンサー調査に基づいておこなわれているので、鼻濁音も調査をしたほうがよいのではないか」という外部委員からの指摘をうけ、NHKアナウンス室の部内委員と検討をおこない、第4回アナウンサー調査として実施することになった。

その際、第2・3回アナウンサー調査同様、自分のふだんの発音ではなく、「放送で使う発音としてふさわしいかどうか」を質問することになった(太田眞希恵・東美奈子(2016))。

調査語は議題に取り上げた60語に加え、鼻濁音に関するゆれがみられそうな外来語や複合語など81語について(合計141語)、濁音・鼻濁音の両方を並べてそれぞれ判定してもらった。

設問番号	文字表記	発音・アクセント表示	○「放送で使うのに望ましい」	×「放送で使うのに望ましくない」	☆「このことばを口に出して言ったことがない」
1 a	アートギャラリー	アートギヤ\ラリー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1 b	アートギャラリー	アートギヤ\ラリー	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 a	香蕉下駄	アズマ\ゲタ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2 b	香蕉下駄	アズマ\ゲタ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3 a	当たり芸	アタリ\ゲ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 b	当たり芸	アタリ\ゲ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 a	雨外套	アマガ\イト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 b	雨外套	アマガ\イト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 a	雨傘	アマガサ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 b	雨傘	アマガサ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 a	イギリス	イギリス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 b	イギリス	イギリス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 a	いぶし織	イブシ\ギン	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 b	いぶし織	イブシ\ギン	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 a	ウォーターゲート	ウォーターゲ\ート	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 b	ウォーターゲート	ウォーターゲ\ート	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 a	上着	ウウギ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 b	上着	ウウギ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 a	エメラルドグリーン	エメラルドグリ\ーン	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 b	エメラルドグリーン	エメラルドグリ\ーン	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 調査結果

すべての調査語 141 語の一覧を稿末に掲載した(表 2)。この表では、鼻濁音と濁音、それぞれについて「○(放送で使うのに望ましい)」をつけた人の割合を挙げ、鼻濁音の数値から濁音の数値を引いたものを「差」として昇順に示した。無印は鼻濁音が優勢、▲マークは濁音優勢である。「新辞典記述」の欄は、『新辞典』でどう掲載しているか(－は辞典に未掲載の語)を表している。

鼻濁音がもっとも優勢な語は「雨傘」、次いで「上着」、逆に濁音がもっとも優勢な語は「アートギヤラリー」。また、濁音と鼻濁音が同率で、全く差がないものは「イギリス」「町村議会(ゴカイ)議員」であった。

4-1 議題に取り上げた語

アナウンサー調査の結果をふまえ、第7回改訂委員会に提出した案を修正し、第8回改訂委員会³⁾で再度審議をした(表1)。その結果、濁音・鼻濁音になんらかの変更を加えた語は32語となった。

第4回アナウンサー調査(鼻濁音)概要

調査期間：2014(平成26)年6~7月

調査対象：NHKアナウンサー
中堅・ベテラン層95人
(およそ35歳以上)

回答者数：67人(有効回答率71%)

調査項目：141語(282発音型)

調査方法：筆記式の回答用紙を作成し、示されたガ行の発音(濁音・鼻濁音)について、○(放送で使うのに望ましい)、×(放送で使うのに望ましくない)、☆(このことばを口に出して言ったことがない)の判定を記入する方法。

表1 濁音・鼻濁音両用ある語（発音変更と調査結果）

後部要素	表記	98年版	新辞典 (変更あり)	鼻濁音○ (%)	濁音○ (%)
がいう	雨がいう 《×外套》	カ° / ガ		31	27
楽団	管弦楽団	カ° / ガ	ガ / カ°	66	72
楽団	交響楽団	カ° / ガ	ガ / カ°	58	81
楽団	室内管弦楽団	カ° / ガ	ガ / カ°	63	78
学派	大儒学派	カ° / ガ		22	27
学部	教育学部	ガ / カ°		69	72
学部	教養学部	ガ / カ°		67	72
学部	政経学部	ガ / カ°		61	73
学部	文理学部	ガ / カ°		73	69
楽器	管弦楽器	カ° / ガ	ガ / カ°	64	73
楽器	金管楽器	ガ	ガ / カ°	69	73
楽器	吹奏楽器	ガ / カ°		64	73
楽器	木管楽器	ガ	ガ / カ°	76	73
楽曲	管弦楽曲	カ° / ガ	ガ / カ°	54	76
学校	兵学校	ガ / カ°	カ° / ガ	85	55
学校	盲学校	ガ / カ°	カ° / ガ	84	61
学校	ろう学校《×聾》	ガ / カ°	カ° / ガ	87	58
月日	生年月日	ガ / カ°	カ° / ガ	81	63
月日	年月日	カ° / ガ		93	49
柄	しま柄《×縞》	カ° / ガ	カ°	85	46
議会	区議会	ギ° / キ°	キ° / ギ	90	39
議会	県議会	ギ° / キ°	キ° / ギ	96	43
議会	県議会議員	ギ° / キ°	キ° / ギ	93	39
議会	市議会	ギ° / キ°	キ° / ギ	93	39
議会	市議会議員	ギ° / キ°	キ° / ギ	96	37
議会	村議会	ギ° / キ°	キ° / ギ	94	43
議会	村議会議員	ギ° / キ°	キ° / ギ	93	42
議会	町議会議員	ギ° / キ°	キ° / ギ	85	45
議会	道議会	ギ° / キ°	キ° / ギ	81	48
議会	都議会	ギ° / キ°	キ° / ギ	90	43
議会	都議会議員	ギ° / キ°	キ° / ギ	90	45
議会	府議会	ギ° / キ°	キ° / ギ	87	48
議会	府議会議員	ギ° / キ°	キ° / ギ	84	46

後部要素	表記	98年版	新辞典 (変更あり)	鼻濁音○ (%)	濁音○ (%)
銀	純銀	キ° / ギ		69	61
銀	白銀	キ° / ギ		91	54
銀	洋銀	キ° / ギ		28	31
銀	塩化銀	ギ° / キ°		40	61
銀	豆板銀	ギ° / キ°		19	42
銀	ヨウ化銀《×沃》	ギ° / キ°		34	60
銀	硫化銀	ギ° / キ°		45	79
銀貨	金銀貨	キ° / ギ		40	46
具合	出来具合	グ / ク°	ケ° / ゲ	82	58
芸	当たり芸	ケ° / ゲ		63	40
芸	表芸	ケ° / ゲ		57	30
芸	素人芸	ケ° / ゲ		73	60
芸	殿様芸	ゲ / ケ°	ケ° / ゲ	46	48
劇	劇中劇	ケ° / ゲ		75	57
劇場	小劇場	ケ° / ゲ	ゲ	54	76
下水	割り下水	ゲ / ケ°			(調査なし)
げた	《×吾妻下駄》	ケ° / ゲ		31	28
げた	《×薩摩下駄》	ケ° / ゲ		36	34
げた	庭げた《×下駄》	ケ° / ゲ		51	43
げた	塗りげた《×下駄》	ケ° / ゲ		60	46
原色	三原色	ケ° / ゲ		67	73
ござ	寝ござ《×奠座》	ゴ° / ゴ		64	34
ござ	花ござ《×奠座》	ゴ° / ゴ		43	55
接頭+ガ行	大御所	ゴ / コ°	コ° / ゴ	84	49
接頭+ガ行	非合法	ゴ / コ°		67	64
接頭+ガ行	非合理	ゴ / コ°		55	64
接頭+ガ行	不義理	キ° / ギ	キ°	84	42
接頭+ガ行	不合格	ゴ / コ°	コ° / ゴ	78	63
接頭+ガ行	不合理	ゴ / コ°	コ° / ゴ	81	57

変更にあたっては、調査の結果を参考にしつつも、各自が習得しやすいように、同じ後部要素を持つ語はなるべく発音をそろえるなど配慮した。

「～楽団」「～楽器」は「～ガクダン」「～ガッキ」という濁音をより優先する第1の発音に、「～カクダン」「～カッキ」という鼻濁音を2番目の発音に統一した。逆に「～議会」「～

議会議員」は調査結果で鼻濁音支持が全体的に9割前後と支持率が高かったため、「～キ°カイ」「～キ°カイギイン」と鼻濁音を第1の発音にした。

当初は濁音・鼻濁音の併記を減らし、整理したいと考えていたが、調査の結果、圧倒的な差がついた語は予想外に少なく、全体に優先順位を工夫するにとどめることになった。

4-2 議題以外の調査語

以下では、改訂委員会で議題として取り上げたもの以外の調査語の結果について報告する。

『新辞典』の巻末解説「発音・アクセント全般について 3. ガ行鼻音（鼻濁音）」（p.[26～30]）に述べたガ行鼻音の傾向に沿って、いくつか特徴的なものを紹介したい⁴⁾。

(1) 原音が鼻音の外来語

原則として、ガ行の鼻濁音は単語の最初（語頭）では現れず、語中・語尾では現れる。ただし、いくつか例外がある。

例外① 外来語では、語中・語尾であっても「ふつうのガ行音」が現れる

《例》ハンバーガー、フィンガー、…（p.[28]）

しかし、さらに例外がある。

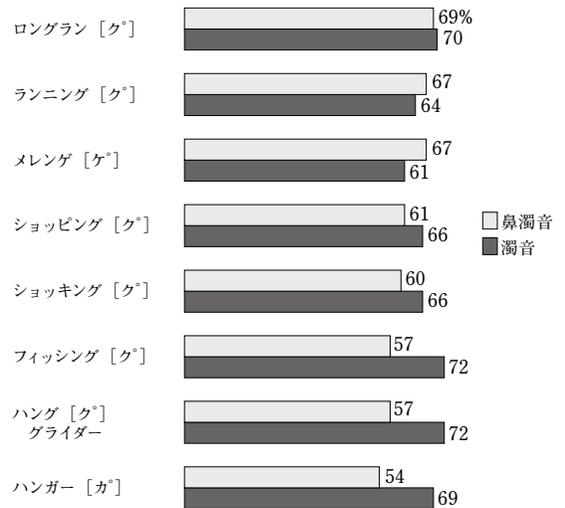
ただし、原語で鼻音のものは、「ガ行鼻音」で現れる

《例》キング[°]、[°]クッキング[°]、サイクリンク[°]、シンカー[°]…（p.[28]）

今回は「～ing」で終わる4語と [ŋ] を含む4語について調べた。

図1は鼻濁音の支持が多い順に並べた。これらは『新辞典』ではすべて鼻濁音のみだが、この結果を見る限りでは、他の外来語同様に濁音で発音することも、原語の鼻音に準じることも、大差ないという結果だった。最近の外来語は英語以外の言語が増え、そもそも原音の発音が鼻音かどうかを判断することが難しい面もある。今後、原音が鼻音の語も、さらに濁音を支持する人が増えて、この例外を見直す必要が出てくるかもしれない。

図1 原音に鼻音を含む外来語



[] は『新辞典』で示した発音

(2) 古い外来語

(1)と同様に、次のものも外来語の原則の例外である。

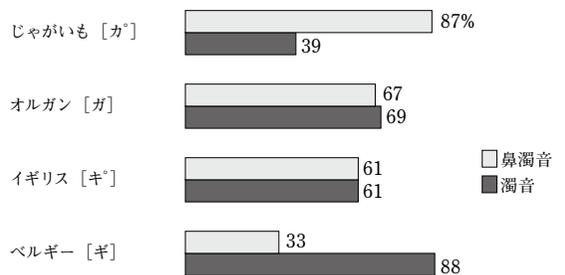
また、かなり昔に借用した外来語の中には、「ガ行鼻音」で現れるものがある

《例》イギリス、ペンキン（p.[28]）

「昔」の定義は難しいが、今回、図2の4語を調査した。

「じゃがいも」は『98年版』も『新辞典』も鼻濁音で掲載している。これはもはや「ジャ

図2 古い外来語



[] は『新辞典』で示した発音

ガ(ジャガタラの略)」が外来語であるという意識はほとんどないためと思われる。「イギリス」の調査結果は鼻濁音と濁音が全くの同率であったが、『98年版』で[イキ[°]リスジン]として載せており⁵⁾、今回[イキ[°]リス][イキ[°]リスジン]ともに鼻濁音で表示した。同じ地名でも「ベルギー」は鼻濁音の支持率が低いので、[ベルギ[°]]と濁音にした。「オルガン」は調査結果がゆれているが、圧倒的な差がなかったことや原語に鼻音がないことを考慮して、『98年版』の濁音のままとした。他のアクセント辞典では鼻濁音にしているものもみられる⁶⁾。

(3) 複合語の後部でもともとガ行の語

複合語の切れ目の後のガ行音は、以下のような原則があり、語中であっても、濁音が現れる。

例外②組み合わせさせてできた語で、ガ行の音の前に意味上・語構成上の「切れ目」の意識が残っている場合には、語中・語尾であっても「ふつうのガ行音」が現れる

《例》アサゴハン(朝+ごはん)

リンカンガッコー(林間+がっこう)

クモリガラス(曇り+ガラス)

…(p.[28~29])

例えば、同じ「~ごま」でも、「白ごま」は「白+ごま」で濁音[~ゴマ]、「持ち駒」は「持ち+こまの連濁」なので鼻濁音[~ゴ[°]マ]になる。

本稿の副題の「ももぐみ」は、幼稚園などの「もも組」(もも+組^{ぐみ}の連濁)の場合[モモク[°]ミ]だが、「ももグミ(ピーチ味のグミ)」は「桃+グミ」なので、[モモグ[°]ミ]と濁音になるのが原則である。「グミ」は外来語なので、

さらに鼻濁音になりにくい。

しかし、鼻濁音を意識するあまり、過剰に鼻濁音を使いすぎてしまう例を放送などで耳にすることがある。その様相を観察するために、後部がガ行で始まる複合語について調べてみた。図3に鼻濁音支持が多い順に並べた。

「生ごみ」「マシンガン」を鼻濁音で発音するのは過剰な鼻濁音化だが、それぞれ79%、42%のアナウンサーが鼻濁音を放送で使うことに抵抗がないという回答だった。

また、図3の中で「*」のついている語は、「マシン+ガン」のように前部の語尾が[ン]で終わるので、より後部の語頭が鼻濁音になりやすいのではないかと予想したが、顕著な傾向はみられなかった。

むしろ、上位の語は、比較的古く、「窓ガラス」「ワイングラス」「チューインガム」など日常生活でなじみのある外来語であることがわかる。

鼻濁音の支持がもっとも高い「生ごみ」は使用頻度も高く、切れ目意識も弱い。和語なので、外来語に比べて鼻濁音になりやすいとも思われるが、「粗大ごみ」「不燃ごみ」や、同じ拍数でも使用頻度の低い「綿^{わた}ごみ」などになると、鼻濁音の支持は下がりそうである。

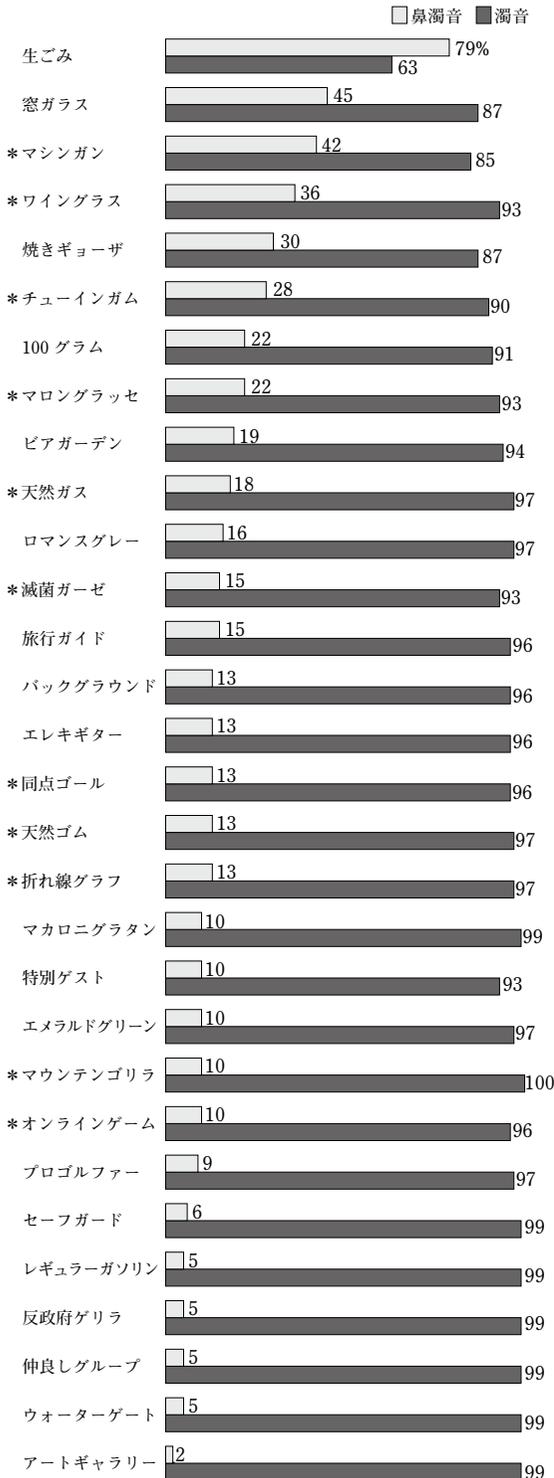
やはり、語の切れ目意識が多く働いているのではないか。

もうひとつ、「マウンテンゴリラ」「オンラインゲーム」のように、前部要素が長くなると(5拍以上)、鼻濁音を支持する人が少なくなる傾向が多少あるかもしれない。

「窓ガラス」や「ワイングラス」のように外来語で、切れ目がはっきりしている語でもアナウンサーの鼻濁音支持が4割前後もあった。

今後、複合語の後部ガ行音については、和

図3 後部がガ行で始まる複合語
 (『新辞典』で濁音のみ)



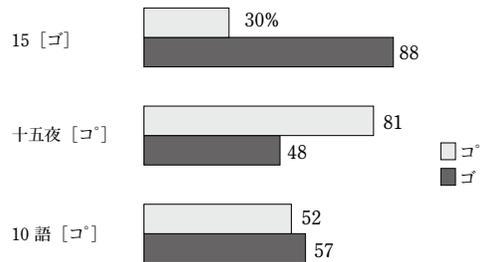
語や漢語も加え、調査や放送例を採集するなど、注視していく必要があるようだ。

(4) 数字の「5」を含む語

数詞の「5(五)」は、語中・語尾であっても「ふつうのガ行音」が現れる…
 ただし、語源としては「5(五)」であっても数詞としての役割・意識が薄れたものは、「ガ行鼻音」で現れる
 《例》ジュコ^コヤ (十五夜),
 シ^シチコ^コサン (七五三) … (p.[30])

図4をみると、「15」は濁音、「十五夜」は鼻濁音がそれぞれ多数派だが、原則どおりではない発音も多く支持されている。

図4 「5」を含む語



[] は『新辞典』で示した発音

また、かなで書いたときに「15」と同じく「じゅうご」となる「10語」は、原則[ジュコ]と鼻濁音になるが、調査結果は濁音と鼻濁音の支持率がほぼ同程度である。

数詞+助数詞の場合、ガ行で始まる助数詞は鼻濁音になるのが原則である(例「^{がた}型」「^ご語」「^{ごう}合」。ただし「ギガ」「グラム」など外来語は除く)。今回の「10語」の結果をみると、数詞の「5」、ガ行の助数詞については、さらに用例を増やした調査や分析が必要と思われる。

おわりに

辞典改訂のための調査であったため、鼻濁音のほんの一面しか取り上げることができなかったが、その中でも、いくつかの特徴がみられた。

- ・「ランニング」のように原音が鼻音の外来語は、辞典では鼻濁音を示しているが、濁音に抵抗のないアナウンサーも多い。
- ・複合語の切れ目の頭のガ行音は、「生ごみ」「窓ガラス」「マシンガン」のように使用頻度が高く、なじみ度が高くなると、外来語であっても鼻濁音を支持する人が半数近くいるものもある。
- ・数詞の「5」やガ行で始まる助数詞には、大きなゆれがみられるものがある。

戦前からの系譜を引き継ぐ鼻濁音使用の基準（『新辞典』では「傾向」とした）をめぐって、「そもそも放送で鼻濁音は使うべきものなのか」「これまでとは違う目安が必要なのではないか」という大きな問題に、正面から取り組む時期になっているのかもしれない。その判断のための実態把握に資する基礎資料として、鼻濁音に関連することばの語構成、原語が鼻音であるかどうか、流入時期、複合語としての切れ目意識の濃淡など、さまざまな観点からの調査・分析を今後進めてゆきたい。

(しおだ たけひろ/ひがし みなこ)

注：

- 1) 第1回改訂専門委員会 2008年5月30日開催(坂本充(2008))。
- 2) 第7回改訂専門委員会 2014年5月26日開催(塩田雄大・山下洋子・東美奈子(2014))。
- 3) 第8回改訂専門委員会 2015年5月29日開催専門委員：井上史雄氏、上野善道氏、相澤正夫氏、他文研事務局参加。
- 4) 『新辞典』のガ行鼻音に関する解説部分は塩田雄大が執筆。
- 5) 『98年版』では、「外国の地名」約1,000語を巻末にまとめて掲載していた。この欄では統一的に鼻濁音と無声化記号は示さないという方針で記していたため、「イギリス」と表示していた。一方、本文に掲載した「イギリス人」は、鼻濁音表記を用いて「イギリスジン」としていた。
- 6) 『新明解日本語アクセント辞典 第2版』(三省堂2014)は「オルカ^ン」と鼻濁音で掲載。

引用文献：

- ・相澤正夫(1994)「ガ行鼻音保持の傾向性と含意尺度－札幌市民調査の事例から－」『研究報告集』15(国立国語研究所報告107)
- ・相澤正夫(1995)「富良野市におけるガ行鼻音の動向」『研究報告集』16(国立国語研究所報告110)
- ・稲垣文男・石野博史・最上勝也(1981)「中学生の言語感覚」『文研月報』31-5
- ・井上史雄(1971)「ガ行子音の分布と歴史」『国語学』86
- ・井上史雄(1989)「子音の発音の変化」『講座日本語と日本語教育2 日本語の音声・音韻(上)』明治書院
- ・上野善道(2004)「第7章 音の構造 音素設定の作業原則(1)」『言語学[第2版]』東京大学出版会
- ・上野善道(2009)「服部音韻論の再評価」『東京大学言語学論集』28
- ・上野善道(2015)「鼻濁音2題」(NINJALコロキウム(2015.9.15)発表資料)
- ・太田真希恵・東美奈子(2016)「NHKアクセント辞典“新辞典”への大改訂① 18年ぶりの改訂で誕生『NHK日本語発音アクセント新辞典』～アクセント記号や見出しの立て方も一新～」『放送研究と調査』66-7
- ・大西勝也・柴田実(2000)「アナウンサーの鼻濁音使用実態と音声分析ソフトによる判定について」『放送研究と調査』50-4
- ・大西拓一郎(2016)「鏡(かがみ)－ガ行鼻濁音」『新日本言語地図－分布図で見渡す方言の世界』朝倉書店
- ・大橋純一(2001)「東北方言におけるガ行鼻音の動向」『文芸研究』151
- ・大橋純一(2007)「ガ行鼻濁音の実態と評価の変遷」『国語論究 第13集 昭和前期日本語の問題点』明治書院
- ・尾崎喜光(2015)「全国多人数調査から見るガ行鼻音の現状と動態」『ノートルダム清心女子大学紀要 日本語・日本文学編』39-1

- ・金田一春彦 (1942) 「ガ行鼻音論」『現代日本語の研究』国語学振興会編
- ・國米藤吉 (1935) 「アナウンサー採用試験問題」『マイク放談』東學社
- ・小森幸正 (1934) 「アナウンサー採用試験概況 (上)」『調査時報』43
- ・坂本充 (2008) 「『NHK 日本語発音アクセント辞典』改訂始まる」『放送研究と調査』58-8
- ・坂本充 (2009) 「『アクセント辞典』改訂への要望～現行アクセント辞典・アナウンサー全項目調査から～」『放送研究と調査』59-2
- ・真田信治・尾崎喜光 (1988) 「十津川方言音声のグロットグラム－ガ行子音・ダ行子音－」『待兼山論叢 日本学篇』22
- ・塩田雄大 (2012) 「『NHK 日本語発音アクセント辞典』改訂 項目表示形式の検討～アクセント辞典改訂専門委員会 (第6回) から～」『放送研究と調査』62-9
- ・塩田雄大・山下洋子・東美奈子 (2014) 「『NHK 日本語発音アクセント辞典』改訂 具体的な作業方針をめぐる検討～アクセント辞典改訂専門委員会 (第7回) から～」『放送研究と調査』64-9
- ・田中ゆかり・吉田健二 (1997) 「変異消失の過程とその制約－山梨県西部域若年層におけるガ行子音－」『計量国語学』20-8
- ・南部智史・朝日祥之・相澤正夫 (2014) 「ガ行鼻音の衰退過程とその要因について－札幌と富良野の言語調査データを利用して－」『国立国語研究所論集』7
- ・日比谷潤子 (1988) 「バリエーション理論」『言語研究』93
- ・日比谷潤子 (2002) 「言語変異の地理的差異」『音声研究』6-3
- ・文研・世論 ことば調査グループ (1980) 「現代人の話しことば－「ことばに関する意識」調査から」『放送研究と調査』30-2
- ・馬瀬良雄・渡辺喜代子・清水千寿子・中東靖恵 (1999) 「現代日本語におけるガ行鼻音の実態と共通語としての地位」『日本方言研究会 第69回研究発表会 発表原稿集』
- ・三宅武郎 (1939) 「ガ行鼻音の本質と発音法則」『放送』9-6
- ・宮永真紀・松田謙次郎 (2001) 「兵庫県高砂市におけるガ行音の分布」『日本方言研究会 第72回研究発表会 発表原稿集』
- ・山田敏弘 (2013) 「いきものがかりの言語学1～音声的特徴」『岐阜大学教育学部研究報告 人文科学』61-2

表2 調査語結果一覧 (鼻濁音－濁音, 差が大きい順)

	表記	発音	鼻濁音○ (%)	濁音○ (%)	差 (%)	新辞典記述
1	雨傘	アマガサ	99	19	80	カ*
2	上着	ウワギ	93	18	75	キ*
3	はかき	ハザキ	96	28	68	カ*
4	もち米	モチゴメ	96	34	62	コ*
5	器楽曲	キザクキョク	85	24	61	カ*
6	管楽器	カンザツキ	97	37	60	カ*
7	市議会議員	シギカイギイン	96	37	59	キ* / キ
8	新学期	シンザツキ	96	39	57	カ*
9	理学部	リザクブ	96	39	57	カ*
10	忠義	チュウギ	90	34	56	キ*
11	県議会議員	ケンギカイギイン	93	39	54	キ* / キ
12	市議会	シギカイ	93	39	54	キ* / キ
13	商学部	ショウザクブ	94	40	54	カ*
14	県議会	ケンギカイ	96	43	53	キ* / キ
15	区議会	クギカイ	90	39	51	キ* / キ
16	村議会	ソンギカイ	94	43	51	キ* / キ
17	村議会議員	ソンギカイギイン	93	42	51	キ* / キ
18	人混み	ヒトゴミ	97	46	51	コ*
19	工学部	コウザクブ	93	43	50	カ*
20	法学部	ホウザクブ	94	45	49	カ*
21	じゃがいも	ジャガイモ	87	39	48	カ*
22	農学部	ノウザクブ	90	42	48	カ*
23	審美眼	シンビガン	84	37	47	カ*
24	都議会	トギカイ	90	43	47	キ* / キ
25	隠し芸	カクシゲイ	91	45	46	ケ* / ケ
26	弦楽器	ゲンザツキ	96	51	45	カ*
27	打楽器	ダツツキ	94	49	45	カ*
28	都議会議員	トギカイギイン	90	45	45	キ* / キ
29	年月日	ネンザツビ	93	49	44	カ* / ガ
30	不義理	フキリ	84	42	42	キ*
31	薬学部	ヤクザクブ	90	48	42	カ*
32	町議会議員	チョウギカイギイン	85	45	40	キ* / キ
33	蘭学部	ランザクブ	87	48	39	カ*
34	しま柄《×縞》	シマガラ	85	46	39	カ*
35	府議会	フギカイ	87	48	39	キ* / キ
36	海軍	カイゼン	84	46	38	ク*
37	府議会議員	フギカイギイン	84	46	38	キ* / キ
38	白銀	ハクギン	91	54	37	キ* / キ
39	お家芸《×御》	オイエケイ	82	46	36	ケ* / ケ
40	大御所	オウゴシヨ	84	49	35	コ* / コ
41	十五夜	ジュウゴヤ	81	48	33	コ*
42	水銀	スイギン	85	52	33	キ*
43	道議会	ドウギカイ	81	48	33	キ* / キ
44	寝ござ《×寝座》	ネゴザ	64	34	30	コ* / コ
45	兵学校	ヘイザツコウ	85	55	30	カ* / ガ
46	ろう学校《×聾》	ロウザツコウ	87	58	29	カ* / ガ
47	表芸	オモテゲイ	57	30	27	ケ* / ケ

	表記	発音	鼻濁音○ (%)	濁音○ (%)	差 (%)	新辞典記述
48	大道芸	ダイドーゲー	81	55	26	ケ ⁺ / ゲ
49	鍵盤楽器	ケンザツキ	73	48	25	ー
50	出来具合	デキグアイ	82	58	24	ク ⁺ / ゲ
51	不合理	フゴリ	81	57	24	コ ⁺ / ゴ
52	当たり芸	アタリゲー	63	40	23	ケ ⁺ / ゲ
53	盲学校	モーザツコ	84	61	23	カ ⁺ / ガ
54	劇中劇	ゲキチューゲキ	75	57	18	ケ ⁺ / ゲ
55	生年月日	セーネンザツピ	81	63	18	カ ⁺ / ガ
56	日銀	ニチギン	81	64	17	キ ⁺
57	生ごみ《×燃、芥》	ナマゴミ	79	63	16	ゴ
58	不合格	フゴカク	78	63	15	コ ⁺ / ゴ
59	塗りげた《×下駄》	スリゲタ	60	46	14	ケ ⁺ / ゲ
60	素人芸	シロートゲー	73	60	13	ケ ⁺ / ゲ
61	旦那芸	ダンナゲー	43	31	12	ケ ⁺ / ゲ
62	丁銀	チョーギン	45	34	11	キ ⁺
63	純銀	ジュンギン	69	61	8	キ ⁺ / キ
64	庭げた《×下駄》	ニワゲタ	51	43	8	ケ ⁺ / ゲ
65	メレンゲ	メレンゲ	67	61	6	ケ ⁺
66	雨がいう《×外套》	アマザイト	31	27	4	カ ⁺ / ガ
67	文理学部	ブンリザクフ	73	69	4	ガ / カ
68	あずまげた《×吾妻下駄》	アズマゲタ	31	28	3	ケ ⁺ / ゲ
69	非合法	ヒゴホフ	67	64	3	ゴ / コ
70	木管楽器	モツカンザツキ	76	73	3	ガ / カ
71	ランニング	ランニング	67	64	3	ク ⁺
72	きつまつた《×薩摩下駄》	サツマゲタ	36	34	2	ケ ⁺ / ゲ
73	イギリス	イギリス	61	61	0	キ ⁺
74	町村議会議員	チョーソンギカイギン	67	67	0	ギ
75	ロングラン	ロングラン	69	70	▲1	ク ⁺
76	オルガン	オルガン	67	69	▲2	ガ
77	殿様芸	トノサマゲー	46	48	▲2	ケ ⁺ / ゲ
78	教育学部	キョーイクザクフ	69	72	▲3	ガ / カ
79	町村議会	チョーソンギカイ	67	70	▲3	ギ
80	洋銀	ヨウギン	28	31	▲3	キ ⁺ / キ
81	金管楽器	キンカンザツキ	69	73	▲4	ガ / カ
82	教養学部	キョウヨウザクフ	67	72	▲5	ガ / カ
83	大儒学派	ケンジュザクハ	22	27	▲5	カ ⁺ / ガ
84	10語	ジュウゴ	52	57	▲5	コ ⁺
85	ショッピング	ショッピング	61	66	▲5	ク ⁺
86	管弦楽団	カンケンガクダン	66	72	▲6	ガ / カ
87	金銀貨	キンギンカ	40	46	▲6	キ ⁺ / キ
88	三原色	サンゲンシヨク	67	73	▲6	ケ ⁺ / ゲ
89	ショッピング	ショッピング	60	66	▲6	ク ⁺
90	管弦楽器	カンケンザツキ	64	73	▲9	ガ / カ
91	吹奏楽器	スイソウザツキ	64	73	▲9	ガ / カ
92	非合理	ヒゴリ	55	64	▲9	ゴ / コ
93	いぶし銀《×煙》	イブシギン	61	72	▲11	キ ⁺ / キ
94	政経学部	セイケイザクフ	61	73	▲12	ガ / カ
95	花ごぼ《×葵藍》	ハナゴボ	43	55	▲12	コ ⁺ / ゴ
96	硝酸銀	シヨウサンギン	58	72	▲14	ギ / キ
97	室内管弦楽団	シツナイカンケンガクダン	63	78	▲15	ガ / カ
98	ハンガー	ハンガー	54	69	▲15	カ ⁺
99	ハンダグライダー	ハンダグライダー	57	72	▲15	ク ⁺
100	フィッシング	フィッシング	57	72	▲15	ク ⁺
101	塩化銀	エンカギン	40	61	▲21	ギ / キ
102	管弦楽曲	カンケンザツキョク	54	76	▲22	ガ / カ
103	小劇場	シヨウゲキジョウ	54	76	▲22	ゲ
104	交響楽団	コウキョウガクダン	58	81	▲23	ガ / カ
105	豆板銀	マメイタギン	19	42	▲23	ギ / キ
106	ヨウ化銀《×沃》	ヨウカギン	34	60	▲26	ギ / キ
107	コンゴ (国名)	コンゴ	51	78	▲27	ー
108	硫化銀	リユウカギン	45	79	▲34	ギ / キ
109	地方議会	チホーギカイ	45	81	▲36	ギ
110	窓ガラス	マドガラス	45	87	▲42	ガ
111	マシガン	マシガン	42	85	▲43	ガ
112	バブアニューギニア	バブアニューギニア	33	87	▲54	ガ
113	ベルギー	ベルギー	33	88	▲55	ギ
114	焼きギョーザ《×餃子》	ヤキギョーザ	30	87	▲57	ギ
115	ワイングラス	ワイングラス	36	93	▲57	グ
116	15	ジュウゴ	30	88	▲58	ー
117	チェインガム	チュウインガム	28	90	▲62	ガ
118	100グラム	ヒヤクグラム	22	91	▲69	グ
119	マロングラッセ	マロングラッセ	22	93	▲71	グ
120	ピアガーデン	ピアザーデン	19	94	▲75	ガ
121	減菌ガーゼ	メツキンガーゼ	15	93	▲78	ガ
122	天然ガス	テンネンガス	18	97	▲79	ガ
123	旅行ガイド	リョウコウガイド	15	96	▲81	ガ
124	ロマンスグレー	ロマンスグレー	16	97	▲81	グ
125	エレキギター	エレキギター	13	96	▲83	ギ
126	同点ゴール	ドゥーテンゴール	13	96	▲83	ゴ
127	特別ゲスト	トクベツゲスト	10	93	▲83	ゲ
128	バックグラウンド	バックグラウンド	13	96	▲83	グ
129	折れ線グラフ	オレセングラフ	13	97	▲84	グ
130	天然ゴム	テンネンゴム	13	97	▲84	ゴ
131	オンラインゲーム	オンラインゲーム	10	96	▲86	ゲ
132	エメラルドグリーン	エメラルドグリーン	10	97	▲87	グ
133	プロゴルファー	プロゴルファー	9	97	▲88	ゴ
134	マカロニグラタン	マカロニグラタン	10	99	▲89	グ
135	マウンテンゴリラ	マウンテンゴリラ	10	100	▲90	ゴ
136	セーフガード	セーフザード	6	99	▲93	ガ
137	ウォーターゲート	ウォーターゲート	5	99	▲94	ー
138	仲良しグループ	ナカヨシグループ	5	99	▲94	ー
139	反政府ゲリラ	ハンセフゲリラ	5	99	▲94	ゲ
140	レギュラーガソリン	レギュラーガソリン	5	99	▲94	ガ
141	アートギャラリー	アートギャラリー	2	99	▲97	ー